

栃木県養護教育研究会・会報

平成28年 6月28日

か が や き

第45号

発行者 栃木県養護教育研究会  
 会長 増 淵 正 典  
 編集者 栃木県養護教育研究会事務局



## 養護教諭としてのますますの輝きを

栃木県養護教育研究会  
 副会長 渡邊 恵美子

もう3月というのに、外は季節外れの雪が降っています。道路も、生け垣の上も真っ白に雪化粧です。窓ガラスにあたった雪が溶けて水滴になっています。光が当たって水滴はまるで宝石のように輝いています。こんな風景を見ながらこの原稿を書いています。先生方の保健室の窓からは、どのような景色が今見えているのでしょうか。

さて、学校教育に気持ちを戻してみます。これからの学校は、基礎的・基本的な知識・技能の習得や、その活用に必要な思考力・判断力・表現力等の育成、豊かな心や健やかな体の育成、そして、学習意欲の向上、多様な人間関係を結んでいく力などを重視する必要があると言われていています。また、これらの教育を行う教員には、次のような資質や能力が必要と言われていています。

- ① 教職に対する責任感、探究力、教職生活全体を通じて自主的に学び続ける力
- ② 専門職としての高度な知識・技能
- ③ 総合的な人間力

もちろん、養護教諭にも同様の資質や能力が求められています。

養護教諭の職務については、学校教育法に「養護教諭は、児童の養護をつかさどる」と示されています。養護教諭の職務は、児童生徒の心身の健全な成長発達を助長する教育であり、その内容は幅広いものになっているのは先生方も御承知と思います。

このことを考えるとき、いつも私の頭に浮かぶことは、『不易と流行』という言葉です。

児童生徒の健康課題は日々変化し、多種多様になってきています。このような毎日、ついつい「流行」という言葉に振り回されていないかと心配になります。養護教諭の基本を常に念頭に置き、目の前の児童生徒の健康課題を正しく判断し、それぞれの学校課題にそった保健室経営を進めていただくことが心からのお願いです。

学校は先生方全員がパズルのそれぞれのピースのようなものです。一つ欠けると、穴が開いてしまい、学校教育が成り立たなくなってしまう。あるべき所に入っていないとパズルが完成しなくなってしまう。

保健室も養護教諭も全体で見ると小さなピースですが、大切な組織の一つで、重要な働きをしています。「不易」の部分をしっかり取り組み「流行」を学び、日々のますますの御活躍をお祈りいたします。

## 文部科学大臣表彰を受賞して

茂木町立逆川小学校 渡辺 恭子



日頃、会員の皆様には、様々な形で大変お世話になっておりますことを、心から感謝申し上げます。この度の受賞は、未熟な私としましては、大変恐縮に存じます。私たち養護教諭は、学校に一人または二人の専門職として、養護教諭同士や職員間の和を大切にしながら、子どもたちの笑顔が輝くよう、日々奮闘しています。私の小学校時代は、2学年ずつの複式学級でした。小・中学校ともに養護教諭はいなかったため、けがをしたときは職員室で手当を受け、休養が必要なときは、宿直室に布団を敷いてもらって休みました。近隣の学校の養護教諭が、数回保健指導に来てくださったことを鮮明に覚えています。高校に入学して初めて、学校には保健室があり、そこには養護教諭が勤務していました。そして今、私もこの職に就いています。臨時採用を含め、2つの中学校と5つの小学校を経て、本校勤務は5年目が終わろうとしています。養護教諭の仲間はもちろん、子供たちや同僚、保護者や地域の方々との出逢いの中で、多くのことを学ばせていただいております。職務内容が多様化する今日ですが、養護教諭が配置されていなかった小中学校を卒業した自分としては、なおさら養護教諭の必要性を感じています。

休み時間や放課後の校庭から聞こえる小学生の高らかな声や歓声が、私は大好きです。時にはけんかをしたり、転んで泣いたり、大声で笑ったり、いろいろな声が聞こえてきます。校庭にも教室にも小さな社会があり、ここで子どもたちは様々なことを学んでいるのですね。私もどの子も必ず持っている純粋で優しい気持ちに気付き、支援できる養護教諭でありたいと思う今日この頃です。

.....

## とちぎ教育賞を受賞して

栃木県立那須拓陽高等学校 安藤 季美

この度平成27年10月2日栃木県公館にて、とちぎ教育賞表彰を受けて参りました。私の受賞要件は「保健指導に関する功労」ということでした。身に余る光栄だと感じております。

私は現勤務校に平成19年定期異動で参りました。生徒達は生き活きと勉強に部活動に励んでおり、多くの元気を今も貰っております。本校の学校医は生徒保健委員会活動に理解があり、学校保健委員会で、適切な指導助言をいただいております。このような環境の中で、生徒一人一人がさらに健康への意識を高めるために生徒保健委員会の活性化を図る活動を行って参りました。今回その活動を評価していただいたの受賞だと理解しております。そう考えたとき、この受賞は生徒やこれまで一緒に勤務した同僚、保護者や学校医等の皆さんのお陰で頂いたのだと改めて感謝を申し上げます。

県内各地から約50名、小・中・高・特支と教育実践の場は違いますが、厳かな雰囲気の中、呼名とともに要件が読み上げられ、「はい」と返事をする声も誇らしく聞こえました。公館の庭での記念撮影は、真っ青な空と木々の緑がすばらしく、この風景は今後の私の人生の宝物となりました。

もう少し、退職までは時間があります。とちぎ教育賞に恥じない仕事をこれからも心がけたいと思いますので、今後ともご指導のほどよろしくお願いいたします。

〔 ※上三川町立明治中学校 吉田 はるみ先生、栃木市立静和中学校 篠塚 紀子先生も受賞されました。おめでとうございます。 〕

## 全国養護教諭連絡協議会 第21回 研究協議会

足利市立けやき小学校 大山 美登里

全養連第21回研究協議会に参加させていただきました。特別講演は「ハードルを越える～自己実現のための一歩として～」と題し、(社)アスリートソサエティ 為末 大氏より世界選手権400mハードルで銅メダルを2度獲得した経験をもとに、「自分をコーチする・失敗をのりこえる・人生をとらえ直す」を柱に、失敗やプレッシャーをどのように乗り越えたか体験談を聞かせていただきました。基調講演は「学校保健安全法施行規則の一部改正について～児童生徒等の健康診断」と題し、文部科学省初等中等教育局 健康教育調査官 岩崎 信子氏より改正点についてマニュアルをもとに一つずつ確認していただき、とても分かりやすかったです。また、今年度加わった四肢の状態については、保健調査をもとに健康観察をし、養護教諭がまとめて校医に情報提供する連携の大切を強調していました。

フォーラム「養護教諭の専門性を発揮した実践とは」では、埼玉大学教育学部教授 戸部 秀之氏をコーディネーターとし4名の養護教諭による「安全で安心できる環境づくりのための環境衛生活動」、「危機管理における養護教諭の役割(食物アレルギーの対応を通して)」、「組織的に取り組む健康相談」、「保健室登校の事例を通して」の実践発表がありました。とても参考になり、あらためて養護教諭の執務の幅の広さを感じました。インフルエンザ流行期で学校を空けづらい時期ではありましたが、参加させていただけたことに感謝いたします。



.....

### 地区だより (南那須地区)

那須烏山市立南那須中学校 佐藤 佳子

南那須地区では、地区全体での研修会を年1回実施しています。本地区は、会員数18名という少人数ではありますが、校種に限らず、近隣の養護教諭同士が情報交換し協力し合って日々の執務にあたっています。

平成27年度は、10月16日に、那須南病院 整形外科医の久保 達也先生を講師にお迎えして、『整形外科医が会う子供たちの怪我・病気』と題し、御講演をいただきました。

私たちは、日頃病気やけがで来室する児童・生徒の対応をしていますが、その症状や状態は様々で、医療機関への受診等を含め、判断に悩むこともあります。その処置や判断が予後の善し悪しに直結することもあり、とても重要であると言えます。久保先生からは、学校から病院へ搬送するかどうかの判断時のポイントやそれまでの学校でできる適切な処置等について、わかりやすくお話ししていただきました。また、スポーツ外傷等を含め、特に外来受診の多い外傷についてピックアップし、写真等を交えて、けがの見分け方や手当などをより具体的に、そして細やかに説明してくださいました。私たちが日頃出会うことの多いけがや病気など保健室での対応にすぐに活かせる内容で、日々のちょっとした不安や悩みについての質問にも丁寧に御回答いただき、とても有意義な研修になりました。

今後も、会員のニーズに合わせた、より有意義な研修ができるように企画し、資質の向上に努めていきたいと考えています。また、少人数の会員ならではの良さを発揮し、地区全体で協力し合い、会員同士が互いに高め合えるようにしていきたいと思っております。

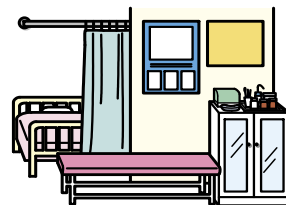
## 平成 28 年度「養護教諭の職務に関する調査」について

小山市立間々田小学校 中田 恵子

本会では平成 21 年まで毎年、「養護教諭の職務に関する調査（悉皆調査）」を全県養護教諭対象に実施していました。この調査の比較となる全国養護教諭連絡協議会の「養護教諭の職務に関する調査」の実施方法が平成 26 年度にマークシート方式から Web 入力方式へと変わるのを機に、本会においても調査方式の検討を重ねてまいりました。

今回 7 年ぶりに実施する調査では、本会のホームページより調査用紙等をダウンロードしていただき、マークシートに記入の上、各地区役員を通して提出していただくという方法を取らせていただきます。6 月の研修会で詳しく説明いたしますが、調査実施は 9～10 月になります。回収は、地区ごとに異なりますが、最終の提出は 11 月 7 日の本会研修会会場とさせていただきます。結果は集計し、ホームページにて報告する予定です。

なお、全国養護教諭連絡協議会の「養護教諭の職務に関する調査」も同時期に実施予定です。こちらの調査は 2 年に 1 回、県内 165 校を抽出し、全国養護教諭連絡協議会のホームページから入力することになります。全く同じ内容ですが、締め切りが違います。本会の締め切りの方が早く大変ご迷惑をおかけしますが、本会の調査を基にいただければ、全国養護教諭連絡協議会の調査もスムーズに終わることが出来ます。皆様、ご協力をよろしくお願いします。



### \*\*研修会のお知らせ\*\*

#### \*「第 4 回レベルアップ研修会」

今年度は会場が宇都宮大学に変わりました。

講師は、「健康教育・スポーツと健康」が専門の久保先生（宇都宮大学）と、早稲田大学で「姿勢と健康」についての人気講座をお持ちの碓田先生（Eテレにも出演）です。

- ・期 日 平成 28 年 8 月 19 日（金） ・場 所 宇都宮大学
- ・講 師 宇都宮大学教育学部講師 久保 元芳 先生  
虎ノ門カイロプラクティック院 院長  
早稲田大学講師 碓田 拓磨 先生
- ・参加費 1000 円

#### \*「第 67 回関東甲信越静学校保健大会」

- ・期 日 平成 28 年 8 月 25 日（木）
- ・場 所 栃木県総合文化センター

※詳しい内容については、すでに文書が配付されておりますので、そちらでご確認ください。地区ごとに人数割り当てもありますので、みなさんご都合をつけてご参加くださるようお願いします。

※一部の先生には、大会役員としてご協力いただくことになります。